

# 不妊に伴う卵管病変の画像診断とその注意点は？

平田 貴美子 木村 文則 村上 節

- 子宮卵管造影検査 (hysterosalpingography : HSG) は、X線透視下で行いますが、卵管の動きや卵管采からの造影剤の拡がり方など、造影剤を注入する過程の透視下でしかみられない所見を見逃さないことが重要です。

● 子宮卵管造影検査 (hysterosalpingography : HSG) は、X線透視下で行いますが、卵管の動きや卵管采からの造影剤の拡がり方など、造影剤を注入する過程の透視下でしかみられない所見を見逃さないことが重要です。

## 子宮卵管造影検査

- 1) 子宮腔造影検査、子宮卵管造影検査
- 2) 子宮腔造影検査、子宮卵管造影検査

## 画像診断のねらい

不妊症における卵管因子は 25~35%<sup>1)</sup> に及ぶため、HSG は不妊症検査のうち卵管疎通性を評価する第一選択の検査として有用である<sup>2)</sup>。特に子宮内膜症がある場合、クラミ

ジニア感染に伴う卵管病変を診断する目的で、HSG を実施する必要がある。HSG による卵管疎通性の評価は、造影剤が卵管を通過し、卵管採から造影剤が流出していることが必要である。

HSG による卵管疎通性の評価は、造影剤が卵管を通過し、卵管採から造影剤が流出していることが必要である。HSG による卵管疎通性の評価は、造影剤が卵管を通過し、卵管採から造影剤が流出していることが必要である。HSG による卵管疎通性の評価は、造影剤が卵管を通過し、卵管採から造影剤が流出していることが必要である。HSG による卵管疎通性の評価は、造影剤が卵管を通過し、卵管採から造影剤が流出していることが必要である。

HSG による卵管疎通性の評価は、造影剤が卵管を通過し、卵管採から造影剤が流出していることが必要である。HSG による卵管疎通性の評価は、造影剤が卵管を通過し、卵管採から造影剤が流出していることが必要である。HSG による卵管疎通性の評価は、造影剤が卵管を通過し、卵管採から造影剤が流出していることが必要である。

ひらた きみこ, 子宮腔造影検査 (HSG) の実施方法と注意点は、臨床婦科放射線学 (2017) 10 (2) 1-6. (URL: <http://www.j-cmr.org/journal/view.php?doi=10.1177/1881479717714810>)